

まちの話題

The topic of the town



地域の安全のための活動が表彰されました

10月20日、宮崎市のメデイキット県民文化センターにて開催された県民のつどいにおいて、九州地区防犯功労者の授賞式が行われ、串間市から3人の方が表彰されました。表彰を受けたのは、永友憲久さん、黒原純郎さん、實藤孝さんです。3人は防犯指導員などの活動を通じて地域の安心・安全の実現に貢献されてきたほか、防犯巡回活動や防犯啓発活動などの活動に積極的に協力し、長年にわたって地域の防犯意識の向上に努めてきました。これらも地域の安全のため、防犯活動に取り組んでいきます。



畳の上の陶器市が今年も開催されました

10月22日から24日にかけて、商工会議所青年部が主催する第3回九州窯元行列in串間が旧吉松家住宅と周辺の仲町通りにて開催されました。今回は九州各県から18の窯元が参加し、自慢の焼き物を展示。3日間の間に約4,000人が旧吉松家住宅を訪れました。来場者は、有田焼や伊万里焼などの焼き物の一つ一つ眺めたり、窯元との会話を楽しんだりしていました。また、最終日にはマグロの解体ショーや太鼓の演奏が披露されました。解体されたマグロは、集まった来場者に振る舞われ、新鮮な味に舌鼓を打っていました。



御崎馬たちの健康を願って馬追い

10月30日、都井岬で馬追いが行われました。例年は5月ごろ行われますが、今年は口蹄疫の影響のため、延期されていました。この日は都井御崎牧組合の組合員と宮崎大学農学部や市の新規採用職員などボランティア約60人が参加。手に竹の棒を持ち、御崎馬の群れを囲みながら柵へと追い込みました。この時期は食料を求め森の中に入っている群れも多く、作業は思うようにはかどりませんでした。それでも全1頭1頭の約半数を柵の中に追い込みました。31日には、馬たちのダニ駆除などの作業が行われました。



串間の秋を彩る市民秋まつり開催

11月3日、串間市の3大イベントの一つ、串間市民秋祭りが串間商工会議所前広場をメイン会場に開催されました。福島小学校からニシムタ前までを練り歩くパレードでは45団体、約1,200人が参加し、踊りやマーチング、仮装行列などで沿道の市民を楽しませました。メイン会場ではステージイベントや特産品の販売などが行われ、大勢の市民が秋の一日を楽しんでいました。また、地域生活支援センターの広場では健康福祉祭も開催されました。健康相談のコーナーや育児用品のバザーなどが行われ、多くの市民が利用していました。



串間の新たな観光地を目指します

11月3日、高松にある志布志湾海の駅イルカランド建設現場にて、起工式が行われました。自治体関係者や工事関係者など約100人が参加。式典では列席者により玉ぐしが奉納され、工事の安全を祈願しました。大黒グループの河本会長は「このイルカランドができることが、串間の町おこしにつながるように頑張りたいと思います」と話していました。なお、大黒グループでは海の駅で働く従業員を串間市から募集しています。詳しくはお問い合わせください。

●問い合わせ先 海の駅開設準備室
☎099-472-3407



ろうそくの明かりで過ごす一夜

11月7日、市役所にてキャンドルナイトin串間が開催されました。このイベントは、電気の明かりを消して廃油キャンドルを灯し、地球温暖化への理解を深めてほしいとの理由から、毎年キャンドルナイト実行委員会が主催。今年は福島高校の生徒や市民の方などボランティア約100人が参加しました。使用したキャンドルは、市内から集められた廃油から作られたもので、市役所の駐車場には、廃油キャンドルで作られた串間市のマークの周りに、手作りの竹とうろうが並べられ幻想的な風景を浮かべていました。



南那珂の活性化のための道ができました

11月10日、福島地区・七ツ橋にて広域農道の竣工式が開催されました。この農道は南那珂地域の農業の発展と流通の効率化を目的に昭和55年に着工、平成21年度に工事が完了しました。七ツ橋を起点に日南市北郷町曾和田までを結び、総延長は43kmです。竣工式では神事のあと、橋のそばに建てられた記念碑の除幕式を実施。その後、東国原知事も出席され、中村荘にて竣工式典と祝賀会が開催されました。式典では知事より「県南地域の産業・観光などの波及効果を期待しています」とのあいさつがありました。

